

ソウル経由で行く、日本から最も近いヨーロッパ ウラジオストク&ソウル4日間

日付	都市	時間	日程	宿泊地	食事
6/7 (金)	ソウル	午前	各地空港より空路ソウルへ ソウル仁川国際空港到着 入国手続・合流後、専用車で市内へ	【ソウル 泊】	×
		昼	レストランにて石焼きピピムパの昼食		昼
		午後	ホテルにチェックイン後、自由行動 ◎患者様は市内病院にて人工透析		×
6/8 (土)	ウラジオストク	早朝	市内レストランにてアワビ粥の朝食 食後、専用車で空港へ 仁川国際空港にて搭乗・出国手続	【ウラジオストク 泊】	朝 機 夕
		午前	空路ウラジオストクへ		
		午後	ウラジオストク国際空港到着、入国手続 着後、専用車で市内観光にご案内(潜水艦C-56博物館、鷺の巣展望台、ニコライ二世凱旋門、アンドレイ教会、スヴェトランスカヤ通り散策)		
		夕刻	観光後、レストランにてロシア料理の夕食 食後、ホテルにチェックイン		
6/9 (日)	ソウル	朝	ホテルにて朝食	【ソウル 泊】	朝 昼 夕
		午前	食後、専用車でウラジオストク市内観光へご案内(本願寺跡、与謝野晶子碑など)		
		昼	観光後、レストランにロシア料理の昼食		
		午後	食後、専用車で空港へ 空港にて搭乗・出国手続後、空路ソウルへ ソウル仁川国際空港到着 入国手続後、専用車で市内へ		
		夕刻	レストランにてブルコギの夕食		
夜	食後、ホテルにチェックイン				
6/10 (月)		早朝	市内レストランにてソルロンタンの朝食 食後、専用車で空港へ		朝
		午前	空港にて搭乗・出国手続後、空路帰国の途へ 各地空港到着、入国手続後、解散		機

旅行期間

6月7日(金)~6月10日(月)

旅行代金

出発地：東京・名古屋・大阪

お一人様 **265,000円**

(2名1室ご利用の場合)

◎燃油サーチャージ、空港税について：燃油特別付加料金(燃油サーチャージ)、並びに海外の空港使用税及び国内空港の空港施設使用料、航空保険料、国際観光旅客税は旅行代金に含まれます。今後、燃油サーチャージに増減があった場合でも、旅行代金に変更はございません。

◎成田・中部・関西空港よりそれぞれ出発し、ソウルで合流します。添乗員は関西空港より同行いたします。

- 利用予定航空会社：大韓航空
- 利用予定ホテル：**ウラジオストク**：アストリア クラス
ソウル：ロイヤル クラス
- 食事条件：朝3回・昼2回・夕2回
- 一人部屋追加代金：33,000円
- 現地透析：1回(ソウル)
- 透析費用：1回 約35,000円
- 最少催行人員：6名
- 査証：ロシア入国には査証が必要です。査証申請には旅券と写真が必要です。査証申請は専用のWEBサイトでできますが、弊社でも代行申請させていただきます。その場合、代行費用として1名につき3,240円の申請手数料を申し受けます。パスポートの残存有効期間は、ロシア出国時に6ヶ月以上必要です。お客様ご自身の責任でご確認下さい。韓国入国には査証は必要ありません。
- 渡航情報(危険情報)：ウラジオストクには現在危険情報「十分注意して下さい」が発出されています。韓国には危険情報は発出されていません。詳しくは外務省の渡航情報ホームページをご覧ください。
(<http://www.anzen.mofa.go.jp>)

旅の見どころ②

- アンドレイ教会**：小さくてかわいい造りの、ロシア正教会の建物です。教会内の壁には聖人画がたくさん飾られており、キリスト教会とは違った雰囲気があります。
- スヴェトランスカヤ通り**：ウラジオストクの鉄道駅前をほぼ東西に走る通りで、この街のメインストリートです。ウラジオストク中央駅や百貨店、路面電車など近代的な建物が並び、ヨーロッパの雰囲気を感ぜさせます。
- 本願寺跡**：1886年、西本願寺が初めての海外布教所をウラジオストクに開設し、日露戦争での中断を挟んで、1937年まで活動を行いました。
- 与謝野晶子碑**：パリに渡った夫の寛に会いに行くために、1912年5月5日敦賀港を発って、ウラジオストクからシベリア鉄道に乗り込んだ際に詠んだ詩の碑です。1994年、京都の研究者たちによって建てられました。

旅の見どころ①

●**ウラジオストク**：日本から一番近いヨーロッパともいわれるロシアの街、ロシアの極東最大の港湾都市です。秋田市、新潟市、函館市が姉妹都市提携を結び、文化交流も盛んです。

●**潜水艦C-56博物館**：旧ソ連時代に第二次世界大戦中から戦後にかけて実際に使われていた潜水艦が博物館になっており、内部を見学することができます。

●**鷺の巣展望台**：金角湾を望む小高い丘の上の展望台からは、長さ737mの「黄金橋」をはじめ、経済発展をつづけるウラジオストクの街が一望できます。

●**ニコライ二世凱旋門**：1891年、当時皇太子のニコライ2世が日本からの帰路に立ち寄ったことを記念して建てられました。